

修士論文要旨

学籍番号 21611303 第 号

氏名

人文社会科学 専攻 (コース: 経済学)

CAO ZHILIN

論文題目

企業評価におけるインタangibleズに関する研究

— 製造業における知的財産と企業収益および企業価値との関連性 —

グローバル化に伴い、企業は規模を増大化する機会が増えているとともに、市場における競争も激しくなっている。このような環境において企業が長く成長するためには、企業は将来性を重視し、競争優位を獲得することが不可欠である。企業は競争優位を獲得するため、顧客満足度の向上や新しい製品の開発などのことから努力を行う。

企業はこのような努力から成長を促し、企業の資産の規模を増大させる。このような努力は、ほとんど物理的形態は持たないが、企業の将来の経済的ベネフィットをもたらす可能性が高いため、インタangibleズの影響が大きくなってきている。インタangibleズとは、日本においては無形資産と呼ばれる。近年、企業の資産にインタangibleズが占めている比率がますます増大しているため、このようなインタangibleズの重要性も大きくなってきている。

投資者が企業を評価する際に、一般に、企業の収益性から評価を行う。また、市場の反応から、株価を用いて評価する場合もある。インタangibleズは企業にとって重要なものであるため、このようなインタangibleズは、投資者が企業を評価する際にどのような影響を与えるであろうか。すなわち、インタangibleズは企業の収益および株価にどのような影響を与えることが、企業を評価する際に重要な判断根拠であると考えられる。そのため、このようなインタangibleズをどうやって正しく評価することが重要だと考えられる。

製造業はインタangibleズを重視する企業だと認識されている。製造業の企業のインタangibleズは他の産業より、企業に与える影響が高いと考えられる。したがって、製造業の企業では、インタangibleズと企業収益および企業価値の関連性が高いと考えられる。そのため、本論文では、製造業の企業に用いて分析を行う。

本論文では、まずは、インタangibleズが会計学上の定義および制度からサーベイし、今までの先行研究に踏まえて、必要なサンプルデータを用いて、重回帰分析などの実証分析手法に用いて、インタangibleズと企業収益および企業価値の関連性を明らかにしている。